

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2672700313		
法人名	医療法人弘愛会西村内科		
事業所名	医療法人弘愛会西村内科グループホームさくらプラザ倉梯		
所在地	京都府舞鶴市倉梯中町3番地の2		
自己評価作成日	平成25年8月17日	評価結果市町村受理日	平成25年11月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/26/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kanistrue&JigyosyoCd=2672700313-00&PrefCd=26&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成25年9月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日常生活の中で調理、買い物、掃除等、入居者一人一人が出来る事をして頂き、そこに職員が関わりを持つことにより、入居者、職員共に笑顔が絶えず一日一日をゆったり、のんびりと過ごして頂いている。健康面では24時間対応の医療体制があり、連携しながら安定した環境を整えると共に、普段の生活の中でも散歩や体操等、身体を動かす機会を多く持つよう心がけ運動能力の維持に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは日々の散歩や買い物など利用者と共に積極的に地域に出かける機会を設け、ホーム主催の餅つき会は地域の方の協力や参加を得て開催し、地域との良好な関係を築いています。ホームでは利用者一人ひとりが希望や能力に合わせて家事などに力が発揮できるよう支援したり、散歩や体操、ドライブなどを多く取り入れ、利用者が活動的に過ごせるよう支援しています。また看取り支援では協力医や看護師などと24時間連絡が可能な協力体制を整え、本人や家族の意向に沿った支援に取り組んでいます。職員間はケアや業務内容、処遇改善など、積極的に意見や提案を出し合ったり、内容により法人の会議で実現に向けて検討され、意見を反映する仕組みが職員の意欲の向上に繋がっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	就業時に、理念が書かれたカードを渡し、月に1度のミーティングで確認し合っている。	利用者の尊厳や地域交流、医療連携などが謳われた法人のグループホーム共通の理念が掲げられています。入職時には理念に込められた意義を伝えると共に職員は理念が書かれたカードを常時携帯しています。理念は会議時のレジメにも記載されており、利用者の尊厳保持や、地域との関わりの状況を振り返り、確認しながら実践に活かしています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご近所とのお付き合いや、小学校の授業での訪問と、その後の個別の訪問や、地域の方を招待してのお餅つきなど交流を図っている。	運営推進会議などで地域行事の情報を得て地藏盆に参加したり、小学校や保育園から招待を受け運動会の見学や体験学習の受け入れを行っています。ホームの餅つきは地域の方の手伝いがあり、共に楽しみ交流しています。また散歩や買い物など地域に出かける機会が多くあり、地域の一員として自然な交流を持っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	キャラバンメイトの研修に参加し、地域の人々への理解の重要性を再確認、また学べてはいるが実践するまでには至っていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で頂いた意見などを取り入れて、運営の改善や、新たに取組みを開始している。	隔月に利用者や家族代表、民生委員や元婦人会会長、市職員などの関係者が集まり、会議を開催しています。行事などの報告、質疑応答を行い、家族から夜間の災害時の不安について意見が挙がり、一人体制での避難訓練を実施するなど運営に活かしています。また納涼祭と合わせて開催するなど、参加しやすいよう工夫しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議への参加や、事業所行事への参加を頂いたり、運営上の疑問や問題については連絡を取り合っている。また、徘徊対応模擬訓練の協力依頼など市の事業にも協力している。	管理者は日頃から役所に出向くことが多く、認定調査に関わったり、市の取り組み行事などにも参加しています。日常的に関わる機会が多くあり、協力関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2階玄関の施錠においては、過去の経験も含めて、立地的な点からも安全面でのご家族の同意が統一して得られておらず、電子錠を使用している。	拘束に関する外部研修を受講し、全職員に伝達し周知しています。家族の要望もあり、玄関は施錠していますが、拘束感の無いよう外出の機会を多く持っています。また出かけた利用があればできるだけ付き添っています。抑制に繋がる対応があれば注意し、職員間で話し合い、拘束の無い支援に努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について研修を受ける機会を持つようにし、研修で学んだことは、報告し共有するようにしている。		

グループホームさくらプラザ倉梯

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関して法人内の担当に相談したり話を伺い学んでいるが、研修については、参加したいが適当な研修がなく参加していない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の内容については、契約書及び重要事項説明書により説明し、ご理解と納得を得てから締結している。内容の変更についても、その都度説明し同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が面会に来られた際やプラン作成時に直接伺ったり、郵送物に要望等をお知らせいただけるよう書面でも働きかけている。	ホームへの信頼感の中で家族から要望が挙がりにくい状況ですが、来訪時に声を掛けたり、ホーム便りの中でも意見がないかを問いかけています。要望を受けて外出の機会を増やしたり、夜間を想定した避難訓練を実施するなど、意見を反映した取り組みを行っています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者とはミーティングや、業務の合間にも話をできるようにしている。管理者と経営者も常に要望を出し合える状態にあり、経営者と事業所職員とのミーティングの機会も設けられている。	月1度のミーティングの際や日々の業務の中で意見や提案を聞いています。空調管理やリビングの装飾などは業務係りを通して意見を出したり、担当利用者についての提案など、積極的に意見が出されています。意見を受けて会議の機会を増やすよう検討したり、処遇改善などは法人の会議で話し合わせ、実現するなど、職員の意見を反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当の実施、介護職員処遇改善交付金の活用による支給や、時差勤務手当の実施等改善されつつあり、評価することで向上心をもてるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の勤務年数など、職員に合った研修会に行く機会を設けたり、資格取得のための研修会に参加できるよう勤務を配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会の定期的な研修への参加や、交換研修の受け入れ、舞鶴市グループホーム連絡会への活動にも職員を参加させ交流も図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前より、本人に関する情報を伺ったり、本人の困っておられる事、望んでおられる事を確認したうえでサービスを提供するようになり、提供出来る事、出来ない事を明確に話すなどし、納得を得る事で安心を確保している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前より、本人に関する情報を伺ったり、ご家族の困っておられる事、望んでおられる事を確認したうえでサービスを提供するようになり、提供出来る事、出来ない事を明確に話すなどし、納得を得る事で安心を確保している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームの入居にあたり、本人とご家族がその時に求めておられる事をお伺いし、望んでおられるサービスを提供するよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一日の生活の中で、職員と入居者の方が出来る事を助け合いながら行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者にかかわる事柄については、電話などで連絡をとるようにしたり、入居者の生活の様子を写真と共に報告するなどしている。また、グループホームの行事への参加を求めたり、来所頂く機会を設けている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人への電話の援助や面会の受入れや、思い出の場所への散歩やドライブなどを行っている。	友人や知人の来訪時には居室に案内し、ゆっくり過ごしてもらったり、友人に電話を掛ける為の支援をしています。昔住んでいた場所や思い出の神社などに出掛けたり、年賀状の購入や投函の支援を行っています。また普段の会話の中で知った情報を基に、馴染みの場所へ一緒に外出することもあり、これまでの関係を大切に支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握した上で、座席を配慮したり、一緒に家事を行ったりレクリエーションを行う機会を持ち、共に楽しみ、共に支えあっている。		

グループホームさくらプラザ倉梯

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族よりその求めがあれば対応し、次の生活に関する手続の支援や、退居間もないご家族には行事のご案内もしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話や生活歴から、本人の思いを聞いたり、ミーティングなどで情報を出し合い、本人が安心して好まれる支援が出来るよう努めている。	入居時に本人や家族から趣味や好まれる事、暮らし方の希望などを聞き、思いの把握に繋がっています。日々の暮らしの中ではできるだけ選択肢を用意し利用者を選んでもらったり、意思表示が困難な方は利用者の様子や表情から思いを推測し、職員がアセスメントに追記した意向に繋がる情報などを基にミーティングで本人本位に検討しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前より情報を収集し、入居後にもご本人やご家族、知人から知りえた情報を更新し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	家庭での過ごし方などを把握し、医療との連携をとりながら無理のない生活を送って頂けるよう努めている。また、出来る事は自分でしていただくが、負担にならないよう声掛けをしたりしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成にあたっては、ご本人・ご家族の希望を聞き、月に1回のミーティングに医療関係者も出席し、話し合われた個人の状況を基に計画を立てている。	アセスメントや利用者、家族の意向を基に、ミーティングで話し合い介護計画を立て、3ヶ月毎にモニタリングを実施し計画を見直しています。毎月のミーティングでは担当職員が利用者の状況を報告し、アセスメントに追記した情報などを参考に意見を出し合い、利用者の現状や見直しの必要性を確認しています。ミーティングには毎回看護師の参加があり、医師の提供表の意見も合わせて計画に反映させています。日々の記録は計画に沿って記入しており、見直しに繋がって易くなっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録にプランの内容を実施した場合には、その事を番号で記入するようしており、その結果を踏まえてミーティングで話し合いモニタリングにより次の計画の見直しを行なっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族のニーズに応じ、相談しながらプランの内容以外の事柄も支援するよう努めている。		

グループホームさくらプラザ倉梯

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	災害時の消防団の協力など、地域資源を把握し、安全な生活が送っていただけるよう努めている。また、保育園の運動会の招待や地域のお祭・行事の情報を提供していただき参加している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人とご家族の希望により希望される医療機関を受診されており、状況に応じた支援をさせていただいている。	入居時にかかりつけ医を継続できることを伝え、通院は家族が対応していますが、利用者状況が分かる職員が同行することも多くあります。週1回、協力医の往診や週2回訪問看護、希望により月1回の訪問歯科を受けています。往診時の情報は協力医から直接家族に伝えられると共に、医療情報は個人記録などに記載しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間体制で、看護師に連絡がとれる体制にあり対応していただいている。また、月に1度のミーティングにも出席がある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人とご家族の希望に応じ、医療機関との情報交換と話し合いにより、法人全体で早期退院の体制をとっており、事業所の状況も理解いただいている。また、法人の医療部門との連携もとれている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応については、入居時に伺い、状況に応じ再度確認し事業所の出来る範囲も説明しながら話し合いにより実施している。	入居の際にホームで対応できる内容について説明し支援しています。協力医や訪問看護は24時間連絡が可能で随時の往診があり、法人の看護師も24時間連絡を取ることができ、協力体制を築いています。看取り支援の際には関係者と何度も話し合いを重ね、方向性を確認しながら本人や家族の意向に沿って支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている	急変時や事故発生時にはマニュアルがあり対応している。医療機関との連携についても見易いところに掲示している。また、避難訓練や、救命講習の受講をすすめ、その時に応じた担当看護師の指導も受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練と、地域消防団の避難訓練への参加により協力体制を気付けるよう努めている。	年2回昼夜を想定した避難訓練を行い、安全な場所への避難誘導などを行っています。管理者が町の災害訓練や地域消防団の訓練に参加し、アドバイスを得たり、課題について話し合うなど、協力体制作りにも努めています。また災害に関する研修会に参加して知識を深めたり、米や缶詰などの備蓄、ヘルメットなどを準備しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	特別な場合を除き、名字で呼ぶなど人格を尊重し、声掛けや支援を行うよう心掛けていますが、状況や入居者の状況を考え過ぎ職員優位の対応をしてしまう事がある。	利用者の尊厳を守ることは理念にも謳っており、利用者の気持ちを考えながら共感し、思いを共有できるように努めています。また節度のある程よい距離感を保った対応を心がけ、個々の職員がゆとりを持って対応できるよう職員間の連携やコミュニケーションを大切にしています。不適切な対応があればその都度個別に注意したり、ミーティングで具体的に伝え改善に努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の意思を汲み取るような心掛け、表現の難しい方については選択肢をもって問いかけたり、普段の反応などを見ながら対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ本人のペースを優先するように心掛けているが、他の方との兼ね合いや健康上好ましくないと思われるときなどは、業務優先になることがある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が好まれる色柄の服を購入したり、選択できない方については普段の様子を見ながら配慮し職員が選ぶようにしている。また、美容院を利用され好まれる髪形にしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の能力に応じ共に炊事を行っている。また、メニューについては、希望が伺えればそれに応じ、そうでない場合は、個々の好みや食べ易さ、栄養価を考えながら献立作りをしている。形態についても個人に合わせている。	日々利用者と相談しながら季節の物を取り入れた献立を立て、一緒に買い物に出かけています。調理に力を発揮する利用者もおり、できる事に携わってもらいながら一緒に食事作りを行っています。職員も食卓を囲み同じ食事を食べ、年に数回は外食を楽しんでもらっています。また月に一度、栄養士に献立を見てもらい、バランスのとれた食事の提供に努めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月に1度は管理栄養士にメニューを見ていただき指導を受けている。食べる量などは、普段の様子や体重、検診での血液検査の結果なども考慮し調整している。また、水分補給は常に進めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	可能な方法で、個々に応じた口腔ケアを行っている。また、約2か月に一度、歯科医師の往診の機会をもうけている。		

グループホームさくらプラザ倉梯

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターンを把握しながら、失敗やオムツ類の使用が少なくなるよう取り組んでいる。	排泄時間や利用者の状況が記載された個人記録を参考に、個々に合わせてトイレで排泄ができるよう支援しています。その方に合わせたトイレ誘導を行う中で失敗が減り、布の下着とパットの併用に改善した利用者もあり、ミーティングで話し合いながら自立に向けた支援に取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の補給や、食物繊維類の摂取に努め、個々には薬剤も併用しながら便秘にならないよう取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望をされる方が少なく、曜日を決めて声掛けを行っている。但し、嫌がられる方や希望がある場合にはそれに応じた対応をし、無理の無い様用努めてる。	基本的な入浴日や時間は決めています。希望で夜間に入浴される方もおり、個々の希望を聞きながら柔軟に対応し、週に3日を目安に入ってもらっています。入浴剤や季節の柚子や菖蒲湯、好みの洗顔を使う方など入浴が楽しめるよう支援しています。入浴を拒む方は時間を変えたり、声をかける職員を交代するなど、無理のないよう支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日の中で、年齢・体力・習慣などに応じ休憩していただいたり、就寝していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	いつでも薬剤の内容が確認できる状態にあり、服薬の支援についても単独での確認でなく、複数での確認を行っている。また、服薬される時には、日にちと服薬時間、名前を確認している。症状の変化については、常に医療との連携と訪問により対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意な事を考慮して家事に取り組んでいたたり、みんなで楽しめるようなレクレーションや体操を考え楽しんでいただいている。また、コーヒーの好きな方は、個人に応じ飲んでいただける機会を持っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望される方については、個々に外出するようにしている。また、普段いけないような場所についてもご家族を含めて相談しながら実現するよう取り組んでいる。	散歩や買い物、ドライブは日課になっており、車いすの方も偏ることなく外出できるよう支援しています。公園や季節の桜などの花見や紅葉狩りに出かけ季節を感じてもらったり、時には家族にも声をかけ一緒に出掛けています。個別の希望を聞いて出かけることもあり、外出の機会を多く持っています。	

グループホームさくらプラザ倉梯

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を使われる能力が低下しておられ、現在は、欲しい物については、ご家族了解の基、立替払いの対応となっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて、電話を掛けていただいたり、取り次ぎを行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居住スペースの照明や空調に配慮したり、季節ごとの行事に合わせて共に作った飾りなどを壁に飾っている。また、トイレの場所などは、別に表示を増やしたりして分かり易いようにしている。	観葉植物や絵画が飾られたリビングは窓際にソファコーナーが設けられ、利用者が座る場所を選び、寛いで過ごせるよう工夫しています。季節に応じた折り紙などの共同作品を飾り、季節感に配慮したり、程よい明るさになるよう間接照明を取り入れています。丁寧な掃除と日に2回手すりやドアノブの消毒を行い、清潔な環境で過ごしてもらえよう配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置いて、一人や仲の良い方と過ごして頂ける空間を作っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、馴染みのある家具などを持ってきていただけるようお願いし、持ち込まれておられる方もある。そうでない方は、家族との写真を飾らせていただいたり、好まれるものを置かせて頂くようにしている。	居室にはベットや洗面台、グローゼットが備え付けられ、入居に際しては使い慣れた物や安心できる物を自由に持ち込めることを伝えています。古いタンスやテレビ、縫いぐるみや手芸の作品などを持ち込まれたり、仏壇や遺影を置く方もいます。利用者に合わせた室温に気を配り、過ごし易いようにすると共に夜間は部屋の明るさを調整し安眠できるよう配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ表示を分かり易くしたり、衣装ケースなどは文字で理解できる方については引き出しに表示を付けさせて頂くなどしている。調味料の表示など。		